

第4章 計画のフレーム

本計画の前提条件となる計画対象区域、人口の見通し、市街化区域規模については以下のとおりです。

なお、本計画の目標年次は、岐阜市都市計画マスタープランと整合を図り、平成42年（2030年）とします。

4-1 計画対象区域

岐阜市の全域（20,289ha）

4-2 人口の見通し

年次	現況 平成17年（2005年）	中間年次 平成32年（2020年）	目標年次 平成42年（2030年）
人口	413千人	389～402千人	358～379千人

注）平成17年人口は、国勢調査による（旧岐阜市、旧柳津町の合計）

・将来人口は、岐阜市総合計画「ぎふ躍動プラン・21」による

4-3 市街化区域の規模

年次	現況 平成17年（2005年）	中間年次 平成32年（2020年）	目標年次 平成42年（2030年）
市街化区域 の規模	8,027 ha	8,027 ha	8,027 ha

注）将来の市街化区域の規模は、岐阜市都市計画マスタープランにおいて拡大の必要性は低いとしている。

ただし、工業地については、原則的に拡大を抑制しながらも、東海環状自動車道などの整備によって広域的な都市間連携が新たに生まれることによる立地を図るとしている。